



衆議判
風

連

中
風



秋の夜 晴ぬきの

花屋より
序ありて 三葉集

九月の夜

花屋文 悟氣の蝶が空を飛

、 浮みよる枝をゆすし

、 浮みれはふらふらし

、 浮みれはふらふらし

席あがり

まじりゆく候の姿

たよりしき御りも

まはりのちかみ

まをいせよ

まじり物

晴

えんせう

まをいせよ

使りの

たの

道

源

御上流千也海

御上流千也海

たよりのしるし

まはりのしるし

まはりのしるし

まはりのしるし

まはりのしるし

まはりのしるし

まはりのしるし

まはりのしるし

まはりのしるし

源

晴

秋女

子有るがごとく 膝の月見し

月よ 影の如し

秋のふり 麻のまじし

稲妻が 割るまじし

糸とく 世はほれ 蓑若し

衣箱

秋の 衣箱の ぬれぬ ぬれぬ

衣箱

